

「大人の社会科見学」によって 「学び」「交流」「ビジネス創出」

経営者サミット委員会と関東支部、近畿支部、九州支部、中部支部の共催で、2025年10月9日(木)～10日(金)に「大阪・関西万博視察研修」を実施しました。今回は、各支部の国内視察とトップリーダー倶楽部とのコラボ企画として、多くの会員企業様にご参加いただきました。総勢38社、76名の方々に加え、ご来賓として経済産業省 近畿経済産業局 地域経済部次長の大平昌幸様、同局 次世代産業・情報政策課の小松希大様にも懇親会にご参加いただきました。

まず、10月9日(木)にホテルマイステイズ新大阪で開催された懇親会では、大平様よりご挨拶を賜り、万博の魅力や、近畿経済産業局としての地域産業活性化に向けた取り組みについて有意義なお話を伺いました。さらに、この機会を通じて現在検討が進んでいるJASA改革プロジェクトに対して、経産省と意見交換をする機会を持つことができました。

今回は国内視察とのコラボレーションということで、経営層だけでなく比較的若手の参

加者も多く、懇親会では世代間での活発な交流が行われました。その結果、参加者同士がそれぞれの考え方を理解する貴重な機会となったようです。また、サプライズ企画として、参加企業に1分間スピーチをお願いし、それぞれの取り組みを紹介していただきました。複数支部の共催ということで、近畿支部と他支部の間での人脈形成にも寄与したと考えています。今後、地域を超えた協業によってビジネスの拡大が進むことを期待しています。

翌日、10月10日(金)は薄曇りの天候で、屋外視察には最適なコンディションとなりました。最終日となる10月13日(月)はあいにくの雨となりましたが、皆さんの日頃の行いが良かったおかげでしょう。参加者は77名となり、予想通り会場内は大変混雑し、グループ行動が難しい状況でした(10月10日の入場者数:242,159人)。西ゲートから10:00指定の専用列に並び、入場した頃には、ほとんどの方がバラバラになったようです。

パビリオンでは、事前に近畿支部の方々から情報提供があったこともあり、会場西側に配置されたコモンズ館や、北西部の未来の都市パビリオンなどが多くの参加者に視察されていました。屋外では、西南側の海上で空飛ぶクルマのデモフライトが行われ、その姿を大屋根リング上からも見ることができます。



万博会場で集合写真



西脇 資哲氏



万博会場風景

た。ちなみに、スカイドライブ社の空飛ぶクルマは1台あたり約2億円で販売されており、操縦免許の整備が今後の課題となるようです。

また、鉄腕アトムがシンボルとなっているパソナグループのPASONA NATURE-VERSEパビリオンでは、IPS細胞から作られた心臓のモデルが培養液の中で実際に拍動している様子が見られました。この技術は、臓器移植以外の方法で難病を克服する可能性があり、将来が非常に楽しみです。

各国の文化や未来の技術を直接体験することで、社会課題の解決に向けた創造力が大いに膨らみました。これらの技術や発想を基に、皆様の新たなビジネス創出に役立てば、今回の開催が大きな意義を持つことと思います。



懇親会の様子